

## 研究名

mFOLFOX6,FOLFIRI 療法でのステロイドスペアリングの実態調査

### 1. 研究の対象

2024 年 5 月から 2024 年 8 月に、済生会横浜市南部病院(以下、当院)で mFOLFOX6 あるいは FOLFIRI(±分子標的薬)療法が施行された患者 46 名

### 2. 研究目的・方法

2023 年 10 月に制吐薬適正使用ガイドラインが改訂された。それに伴い、当院ではがん化学療法における各レジメンの制吐剤を再検討した。例えば、中等度催吐リスクに分類される mFOLFOX6,FOLFIRI 療法ではレジメン上、day2 以降のステロイド使用が省略(ステロイドスペアリング)された。今回は、mFOLFOX6,FOLFIRI(±分子標的薬)療法に着目し、変更後のレジメンでの制吐作用効果、ステロイド使用における副作用出現状況を把握する。

調査項目は、患者背景、糖尿病既往の有無、制吐剤の変更有無、悪心発現状況、ステロイド使用状況と副作用発現状況とし、電子カルテを用いて後方視的に調査していく。

### 3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報（後向き研究）

### 4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報は個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

### 5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 鹿間 友絵

### 6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 鹿間 友絵、加藤 一郎